

ぼくらがつくる新たな時代

スタート



Information



小島谷駐在所バトンタッチ

長年、地域住民と駐在さんとの交流の場として、また地域の安全と安心を守るための拠点として29年間親しまれてきた小島谷駐在所が、老朽化にともなう新築工事を終え、新しく生まれ変わりました。

建物をこわしたときは 税務係までお知らせください

建物（住宅、車庫、作業場、工場、倉庫など）を取り壊したときは役場総務課税務係までお知らせください。
これは家屋台帳に正しく記入するためで、この記入が正しく修正されないと実際に存在しない建物に税金がかかったり、評価の証明書を出す際に面積が違っているといったことで、皆様にもご迷惑をおかけすることになります。
詳しくは、役場総務課税務係までお訪ねください。

人口の動き

	11月末人口
人口	5,225人 (-1)
男	2,532人 (-1)
女	2,693人 (±0)
世帯数	1,313世帯 (+4)
	() 内は前月比

暮らしの ワンポイント

住宅の密集地やマンションなど共同住宅では、隣近所の物音や話し声に悩まされるのが少なくありません。音の侵入をシャットアウトし、こちらからも音の流出を最小限にするための簡単な方法を紹介します。

部屋の防音対策

家具やカーテンを効果的に利用



隣のお宅の物音が響くということは、自分の家の音も聞こえている可能性があります。出ず音にも気配りしましょう。テレビやオーディオは、隣に響きにくい位置を考慮して置くことが大切。アパートなど部屋が同じ造りの場合は、隣の押し入れの後ろ側に置くのが最も効果的です。
フローリングの部屋でいすを引く音は下の階にかなり響きます。いすの脚先にフェルトの布をはると静かになります。洗濯機やエアコンの室外機は、振動も問題です。下に防振マットを敷くと揺れが軽減できます。

〒949-4511 新潟県三島郡和島村大字小島谷3434-4
☎0258-74-3111 FAX74-2791



年頭のご挨拶

和島村長 久須美 逸郎

新年明けましておめでとうございませう。

皆様方におかれましては、ご家族お揃いで希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

旧年中は村政の推進に對しましてご指導・ご鞭撻を賜りましたことに、衷心より厚く感謝を申し上げます次第であります。

昨年は北海道有珠山、並びに、伊豆諸島三宅島の噴火による住民の集団避難、そして、鳥取県西部地震等予想だにしない突然の自然災害の恐ろしさ・悲惨さを見せつけられた一年であり、防災と危機管理の重要性を阪神・淡路の大震災の記憶と共に再認識させられた年でもありました。

また、バブル経済崩壊以降の長引く経済不況は、大手企業の倒産や生命保険会社、並びに、金融機関の経営破綻を招き、企業の生き残りかけた国内外の資本の提携や整理統合に拍車をかけております。

人づくり」という理念のもと、関係諸団体と連携を密に致しまして、強力に施策展開を推し進めて参りたいと思っております。



新年あけましておめでとうございませう。

新世紀二十一世紀を村民の皆様方御家族お揃いで、輝かしい新年を寿ぎしこと、誠に慶賀にたえません。

旧年中は、村民の皆様方より村議会に對し、深い御理解と御支援を賜り厚く御礼申し上げます。昨年四月から地方分権一括法が施行されて、明治以来形成されてきた国、県、村という縦の關係であった中央集権型行政システムを

これら経済状況と連動するかの

ごとく政治におきましてもこの十年間は、政党の離合集散による再編成・再々編成と続き、現段階におきましては路線対立の中、未だ「安定」とは行かないのが現状であります。特に、十一月末の内閣不信任案をめぐる政局は非常に分かりにくく、国民の政治に対する不信感を一層募らせるものであり、政治・経済の早期安定は国民総意の願ひであります。

更に、世相を反映してか、青少年の常軌を逸した悲惨な犯罪が多発しており、先般国会において少年法の改正案の採決がなされたと共に教育の抜本的改革、及び、社会教育の在り方、とりわけ家庭教育の重要性の認識と強化が急務となっております。

「週学校五日制」の施行が来年四月に迫っている中、時代を担う人づくり、ひいては地域づくりに向けた施策の検討も新年度の重要な課題であります。

いことから、家庭や地域における「コンセンサス」を得るための「コミュニケーション」づくりの大切さや、親自身が地域活動に率先して参加するという「積極性」と共に、地域活動を踏まえた社会教育活動の中心的役割を果たすという「自己犠牲的考え方」（ボランティア的思考）の涵養も重要かと思っております。

本年は二十一世紀の幕開けの年。

国におきましては「行政改革」の断行と共に、新たな国づくりを目指して「省庁再編」、並びに、「内閣改造」がなされました。そして、昨年は新世紀に向けた地方分権型社会の形成という明治以降確立された上意下達の中央集権国家システムを改め、独自の地域づくりを目指した「地方分権一括法」を施行し、また、戦後確立された従来の行政主導による施設介護から、自己の責任による在宅介護へと転換がなされた「公的介護保険法」をも制定し、施行がなされたところでもあります。

しかしながら、地方分権の推進に向けましては、地方税や地方交付税等地方一般財源の問題と権限移譲に伴う「受け皿」整備の問題が妨げとなっているのが現状であり、介護保険に至っては、見切り発車的に地方公共団体へ責任を委ねられたと言っても過言ではなく、試行錯誤の中、手探りで制度の確

少子高齢化の進行。急激な情報化社会の進展。政治並びに経済構造の変化。産業廃棄物や生活廃棄物等のいわゆるゴミ問題。そして、それら関連のダイオキシン問題。更には、住民の価値観や生活様式の多様化等様々な分野における構造的変化、及び、行政課題等に直面している今日。このような状況に對しまして、地域の総合的行政主

立に向け対応を図っているのが現状であります。また、保険料の在り方と共に、在宅介護における現在の在り方も生計維持の観点から、特養施設の整備・拡充が当然叫ばれて参り、これらが新世紀に残された大きな課題と認識するところでもあります。

さて、和島村におきましては阿弥陀瀬トンネルに次ぎ、国道一六号バイパスの供用が待たれるところでもあります。関係各位のご支援のもと、ようやく橋脚が形として見えてきており、平成十五年頃の供用という目処もついて参りました。同時に、昨年十一月に「道の駅審議会」も立ち上げたところであり、沿線住民の皆様方の思いと願いを鑑みるに、一日も早い供用を目指し、関係機関に對しまして一層の働きかけをして参る所存であります。

また、基幹産業であります農業を取り巻く諸環境は、大変厳しい状況が続いておりますが、継続中であります県営圃場整備事業も十三年度には面工事が終了し、本年度から調査を実施致しております。保内地区の圃場整備事業も始動し、農地集積による大規模経営や機械利用組合による農業の低コスト化等、新たな農業経営の構築を目指しながら施策対応を図って参る次第であります。

そして、特環公共下水道事業も体である地方公共団体は的確に對応し、「活力ある豊かな地域社会」構築のために主体的役割を果たさなければなりません。

新世紀を迎え、極めて硬直化している財政状況をはじめ、引き続き周囲を取り巻く諸環境は大変厳しい状況を呈しておりますが、「お年寄りが安心して暮らせる村づくり」「若者が夢と希望を持てる村

基盤整備事業」が進められます。このような中、明治の大合併、そして今、平成の合併へと市町村合併が急激に論議されてきております。

新潟県においても、市町村合併のパターン等の要綱を作成し、本年二月頃周知されると聞いています。議会も昨年十一月市町村合併に関する諸問題について外部講師を招いて研修会を実施しました。メリット、デメリット等々種々拝聴し、また、活発な質疑応答が交わされ、議員として市町村合併の認識を深めることができました。

計画通り進捗しており、既に供用を開始している三地区の農業集落排水事業と合わせますと七割を超える普及率となっております。更に、両下水道事業で取り組めない地域におきましては、今年度より合併処理浄化槽事業の導入を図っております。

この様に、高規格道路をはじめとした広域的社会資本整備と快適環境整備は、「過疎からの脱却」という至上命題を課せられている和島村にとりましては、「定住促進」の推進を図る上においても重要な施策であります。加えて、低廉な土地の提供も可能であり、豊かな自然環境をはじめ、先人が築かれた尊く誇り高い文化とロマン溢れる古えからの歴史と共に、聖僧良寛がよなく愛した人情味豊かな土地柄も踏まえ、かつ、三条・燕・西蒲、長岡、柏崎とそれぞれ

の経済圏の「扇の要」の位置をなし、住環境・生活環境に適した最良の地であると自負を致しております。

そういう中で、前述致しました様に今日の世相を反映してか、次代を担う青少年の在り方は誠に慙愧に耐えない状況を呈しており、家庭教育の欠落と言われる所以の一端は、親の親たる我々世代の責任として痛感するところであり、「週学校五日制」の施策を含め、社会教育を中心に「地域づくりは

「子や孫に誇れる村づくり」を目標として、職員と共に一丸となつて邁進致す所存であります。

新年のごあいさつ

和島村議会議長 高橋 均

変革し、対策、協力の横の關係となり、地域の行政は、地方公共団体の自主性及び自立性を高めることにより、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を図ることとなりました。

地方自治の独立性が強調され、「自己決定」、「自己責任」をより強く求められる時代に入ってきた訳であります。

また、平均寿命の伸びに伴い、介護を必要とする高齢者に対して介護を社会、地域全体で支え、利

用者の自己選択と自己決定権を尊重した総合的なサービス提供の仕組みである介護保険制度がスタートし、本村では、デイサービスセンターがその大きな役割を担っております。

現下、父祖伝来の用地を守り、農耕の効率を高め、日本一うまい米づくりを目指して昨年に引き続き二十一世紀型地域営農事業の県営ほ場整備事業（桐島・桐原地区）、県営農業農村整備事業の保内地区ほ場整備事業（担い手育成



明るい家庭づくり運動作文

和島村青少年育成村民会議
和島村教育委員会



わたしのいえのかいの日

桐島小1年 いけだ みさき

わたしのかぞくは、おとうさん、おかあさん、おじいちゃん、おばあちゃん、そして、おとうとの六人です。わたしのいえでは、おばあちゃんがねたきりになっていて、いっしょにあそぶことができないので、まい月一かいの、かていの日には、みんなでおばあちゃんにいろんなことをしてあげます。

ほにつれていくこともあります。てやあしをもんであげたり、うごかしてあげたり、からだをさすってあげたりすることもあります。おまけに、ほおに「チュツ」としてあげることもあります。そうすると、おばあちゃんはずきまわって、わらいます。わたしも、うれしくなっています。

ほにつれていくこともあります。てやあしをもんであげたり、うごかしてあげたり、からだをさすってあげたりすることもあります。おまけに、ほおに「チュツ」としてあげることもあります。そうすると、おばあちゃんはずきまわって、わらいます。わたしも、うれしくなっています。

「おばあちゃん、きこえる。みさきさあ、きょうね、おいしいきゅうしょくをいっばいきたよ。」などと、がっこうでのことをおはなしすることもあります。



かぞくのじい

桐島小2年 桑原 優 佑

ほとくの家は七人家ぞくです。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、ほく、弟、いもうとです。おじいちゃんは、会社につとめています。お父さんもお母さんもはたらいています。おばあちゃんはいもうとの子もりをしています。

家ぞくみんなではたらいているので、ほくも手つだいをしています。月曜日と水曜日と金曜日のごみすて当番です。弟はちやわんをふいてかたづけをしています。お母さんとおばあちゃんは、ほくたちがごみすてやちやわんふきをする

うちのとお父さんとお母さんは、毎日しごとに行っています。お父さんは大工さんで家をつくっています。朝はいつも、七時ころしごとに出かけます。帰ってくるのもおそくて、夜の七時ころです。とてもたいへんそうだけど元気ががんばっています。日曜日うちでペンキぬりをしたり、外のおそうじもしてくれます。たいへんそうだな。それからお父さんは、犬のさんぽをしてくれます。両高まで行ってつかれるだらうな、と心の中で思いました。お父さんは、

「まみ、学校ががんばってこいよ。」とよく言います。わたしは、「うん。」と言います。お母さんは、いつもわたしが学校にいつてからおつとめに行きます。帰りは早いときとおそいときがあります。



おじいちゃん、お休みの日ははたけや田んぼに行つてしごとをするので、田うえやいねかりには、ほくも田んぼへ行きます。秋のいねかりの時、ほくはおじいちゃんといっしょにコンバインにのつてお手つだいをしました。コンバインから出てくるお米がふくろにいっばいになったら、お米が出ないよ

うにスイッチを止めました。「お米ひとつでもおとさないでひろつてね」とおじいちゃんから教えても

わたしは、この七人みんなのせいがかくが



おじいちゃんのかいの日

島田小1年 くらむら とむ

たいます。こんどは、みんなであうたいます。わたしは、おばあちゃんが、はやく、

いっしょにうたつたり、おはなしをしたりできるよくなるよいいなあと、おもいます。



がんばるこころをなぞる

島田小2年 船越 麻 美

わたしやお兄ちゃんのすきなおかずをかつてきてくれます。「まみのすきな、かつてきたよ。」「ありがとう。」お母さんは、家でもおりよりや畑しごとをがんばっています。お兄ちゃんも中学生です。自でん車で通っています。お兄ちゃんには、いろいろなところを教えてください。またにキャッチボールをしてあそんでくれます。お兄ちゃんありがとう。えい語とかのべんきようがなければ。

おばあちゃん、うちで畑しごとをしたりおりよりを作つたりしています。だいこんやはくさいを作っています。いまちよつと足がわるいけど、元気がなつてこれからはがんばってほしいです。みんないつもありがとう。まみもべんきようががんばるね。



わたしのかぞく

桐島小3年 佐越 友 理

わたしは、この七人みんなのせいがかくが

ちがつているところがいいと思つています。では、しようかいします。

まず、おじいちゃん。おじいちゃん
は、いつも家の中にいます。たまに、
さんぽに行くけど、足が自由なので
週に一回、リハビリに行っています。
次に、ひいおばあちゃん。ひいおば
あちゃんは今年で九十三才になります
が、とっても元気で毎日さんぽに行き
ます。これからも、元気でずっと長生
きしてほしいです。

次に、おばあちゃん。おばあちゃん
は、家ぞくの中で一番のはたらき者で
す。朝は一番早く起きて家のそうじを
して、にわの手入れをします。時々、
畑にも行きます。今は、時間があると、
紙のおき物を作っています。おばあち
ゃんはやさしいけど、おこるとこわい
です。

次に、お父さん。やさしくて何でも
やります。夏休みの宿題の貯金箱を作
る手つだいをしてくれました。そして、



かぞくの仕事

島田小3年 狩野 めぐみ

お母さんの仕事は、工場などのギザ
ギザの屋根を作ることです。しゃしん
できかいを見たことがあります。

お父さんは「ブルボン」というおか
しを作る工場ではたらいています。た
まに、おかしをおみやげにもってきて
くれます。でも、さいきん「きかいが
こわれた。」なんてことも言っていま

いろいろな理由もできます。とく
に、チャーハンがとってもおいしいで
す。

次に、お母さん。お母さんは家の中
で一番おもしろいです。とくに土、日
曜日が一番おもしろいです。

次に、お姉ちゃん。平日はいじわる
だけど土、日曜日はやさしいです。た
ぶん、休みの日はゆつくりできるから
だと思っています。

さいごに、わたしです。自分のこと
はあんまりわからないけど、ちよつと
だけわかります。それは、いつもえ顔
でいることです。

家ぞくみんな、おたがいにやさしい
です。そして、自分のことをいっしょ
うけんめいにします。きっと、こんな
家ぞくがいるから、わたしのえ顔があ
るんだと思います。

した。

おじいちゃん、おばあちゃんは、お
ふるそうじ、畑しごとなどわたしたち
がいないあいだ家のしごとをやってく
れます。

わたしたちはというと、「お手伝い」
です。夏休み、そうじの手伝いや、ふ
だん、りょうりの手伝いなどです。

と、お母さんはほくに言いました。

「いいよ。」
と、ほくは答えて、がんばろうと思っ
ました。

よく晴れた日には、外でかんやペッ
トボトルなどをあらってかわかし、つ
ぶして分別することを、お父さんとお
姉ちゃんとほくがしました。お母さん
が、

「今まで全部お母さんがやってたこと
を、みんながやってくれて、ずいぶ
ん楽になって助かったよ。」
と言ってくれました。

ほくがゴミの分別の工夫をやってみ



ぼくのたから物

島田小4年 関川 雄 吏

夏休みの終わりに、ほくの家に新し
い家族がやってきました。ラブラドー
ルの子犬です。

ほくは、ずっと前から犬がほしくて、
弟と二人で何度も何度も家の人にたの
んでいました。そうしたら、犬の苦手
なおじいちゃんも、最後には、

「ちゃんと世話をするんだぞ。」
と言っただけでくれました。
ほくはうれしくてうれしくて、それ
から犬の本をいっぱいかりてきて勉強
しました。

かう犬を決めるとき、ほくはしば犬、
弟はバグがいいと思っていました。お

て大変だったのは、かんつぶしでした。

ほくの体重や、力ではなかなかきれ
につぶせませんでした。一番がなばつ
たことは、分別をまちがわないでやっ
たことです。しげんゴミに出すまでに、
いろいろやらなければいけないという
ことがわかりました。学校でもリサイ
クルの勉強をしたけど、家できちんと
して出すことが大事だということもよ
くわかりました。

ほくの家では、箱を利用したこの工
夫が、とても役立っています。そして
今もずっと続けている、工夫の一つで
す。

母さんは、知り合いのラブラドルの
ことを話してくれました。

「大きいけれど、とてもかしこくて人
なつこいんだよ。」

「ほく、知っているよ。もうどう犬に
なる犬でしょ。」

話をしているうちに、ラブラドルに
決めました。

犬の名前はクッキーです。ほくが大
好きなおかしと同じ名前をつけました。

クッキーの世話はいろいろあって一
人ではむずかしいので、お父さんやお
母さんと相談して、ほくは朝と夜の水
かえ係になりました。昼間はお母さん

お父さんとお母さんは、たまに、ざ
んぎょうや、よるおそくに、仕事をし
ているときもあります。朝早くでも仕
事があります。それは、したくです。
お父さんは、朝早く、会社に行くので
朝ごはんも早くしないといけないから、
お母さんとおばあちゃんは、大いそが
しです。お父さんの朝ごはんがおわつ
たころ、わたしたちがおきます。わた
したちの朝ごはんを作らなければいけ
ないから、お母さん、おばあちゃん



わが家の工夫

桐島小4年 近藤 孝 憲

ほくの家ではゴミの分別を工夫して
います。

どうして工夫するようになったかと
言うと、ある日、ほくが毎日いそがし
そうなお母さんを見て、

「お母さん、家の仕事の中で何が一番
大変な仕事なの。」
と聞くと、お母さんが、

「しげんゴミの分別かな。もつと楽に
なる工夫はないかな。」

と答えたことがきっかけでした。ほく
とお母さんは、ゴミの分別をどう工夫
できるか考えました。したらお母さ
んが、

「みんながゴミをすてる時に分別して
くれたら楽になるね。」
と言いました。そこでほくは、

大へんです。朝ごはんがおわったら、
わたしたちががえします。そのあいだ
に、お母さんがけししょうをします。そ
して、わたしたちは、学校に行きます。
お母さんはその後、ちよつとしてから
出かけます。これで朝のしごとはおわ
りになります。

わたしの一ばんすきな仕事は「おり
ょうり」です。まだ三つしかやってな
いけれどがんばります。ほかの仕事も
がんばりたいです。

「箱があると分別しやすくなるよ。」
と言いました。したらお母さんが四
つの大きな箱を持って来ました。まず
ほくは、紙にペンで見やすく、スチー
ル、アルミ、ビン、ペットボトル、と
別々に書きました。水であらう、つぶ
すなどのきまりも書きました。できあ
がった四まいの紙を四つの大きな箱に
はります。お母さんは箱の上を切り取
ると、中にビニールぶくろを入れ、ふ
くろのまましげんゴミの日に持って行
けるようにしました。

その日から家族みんなにも、協力し
てもらえるようにおねがいしてみま
した。
「みんながなれるまで、教える係を孝
憲にたのんでもいいかな。」

が世話をしながら、しつけをしてくれ
ています。少しずつ「スワレ」「マテ」
「フセ」などをおぼえました。だんだ
んほくの言うことも聞くようになって
きて、とてもかわいいです。

この前、お母さんが二日間出かけた
とき、ほくとおばあちゃんとお父さん
で、協力して世話をしました。お母さ
んが帰ってきた時、ほくが、
「うんちやおしっこ始末も一人でや
ったよ。」
と言うと、

「たいしたもんだ。またたのむよ。」
とお母さんからほめられました。

今がんばっていることは、さん歩の
練習です。大きな犬になるので、引つ
ばらないで歩くようにさせています。
クッキーが来てから、いそがしくな
りました。寒くなってきたて、水かえが
つらい日もあります。

でも、クッキーのおかげで、毎日が
楽しくなりました。おじいちゃんもだ
んだん慣れてきたようで、ときどきお
昼ご飯をやってくれたり、仕事のとち



私と家族

桐島小5年 早川 紗 貴

私の家族は、お父さん、お母さん、
姉と私の四人です。

お父さんは、役場で観光の仕事をし
ています。良寛の里やオートキャンプ



場へも毎日かけまわっています。仕事
でおそくなるので、夕食をいっしょに
食べられないこともあります。話をす
ることがあまりないので、姉と私で学

校のことや、テレビのことを話している
と、聞いてきます。知らないことが多い
ので、少しかわいそうです。でも、休
みの日はショッピンやラーメンを食
べにみんなで行くこともあるので楽し
みにしています。

お母さんの仕事は朝早く起きて、お
父さんの弁当を作ったり、朝ごはんを
作ったりしてとてもいそがしいです。
それでも、毎日姉と私を起こしてくれ
ます。朝ごはんの時は、
「ちゃんと食べた？薬は飲んだ？」
と、声をかけてくれます。みんなを送
り出したあとで、お母さんは仕事に行
きます。でも、家事をしたり、実家に
いる病気のおばあちゃんのめんどうを
見に行ったりして、毎日大変です。そ
のため、
「肩がいたいな。」
と言うのが口ぐせです。そうすると、
いつも姉が肩をもんでやっているの

たまには私がやってあげようと思いま
す。これからは、お母さんの手伝いを
どんどんして役に立ちたいです。
中学生の姉と私は、学校のことやテ
レビの話で、もり上がりです。姉は体
育祭や合唱祭などになると、一生けん
めい練習します。とてもがんばり屋だ
と思います。たまにけんかもするけど
宿題も教えてくれるやさしい姉です。
これからもずっと仲良くしていきたい
です。
私の家族はみんな私のぜんそくの
ことを心配しています。だから吸入や
薬を飲み忘れないようにと、いつも私
は注意されます。私も自分から忘れな
いように吸入をしたり、薬を飲むよう
になったので、今年はぜんそくが一回
も出ていません。私もうれし、家
族みんなもよるこんでいます。スポー
ツを一生けんめいして、きちんと薬を
飲んで、早くぜんそくを治したいです。
そして、いつまでも明るくて楽しい家
族でいたいです。



私のお父さん

島田小5年 柄澤 宏美

私のお父さんは、毎年、県のマラソ
ン大会に出ます。去年は、大雨でシー
トがとばされて大変でした。しかし、
今年の新潟マラソン大会は、去年の大
雨がうそのように晴れました。

受け付けが早いため、家を六時に出
発しました。知らない町がいっぱいあ
ったので、夢中でおでこを窓にくっつ
けて見ていると、
「ご飯食べる？」



家族の仕事

桐島小6年 加勢 博一

ほくのお父さんやお母さん。おじい
ちゃん、おばあちゃんは、家の生活の
ために一生けんめいに働いています。
お父さんは与板郷消防署。お母さんは
ふれあいの里というところに。おじい
ちゃんは農業と大工をやっています。
おばあちゃんは家で畑仕事をしたり、
料理の勉強をしています。

でも、ほくはそんな働いている姿を
見ても、それがどうしたという気持ち
でした。ほくは、いつも遊んでばかり
いました。
お父さんの仕事は消防署で、通信を
しています。通信は、電話をとるよう
なものです。そのかん者さんのよう
だいを聞いたりしています。でも、通信
だけでなく、救急車に乗ったり、消防
車に乗ったりもしています。一日じゅ
う通信の時は、起きていなければなり
ません。だから、とても大変な仕事で
す。

お母さんは、出雲崎にあるふれあいの
里で働いています。ふれあいの里は、
お年寄りがいる老人ホームみたいなと
ころです。そこで、いろんな体の勉強
をしたり、お年寄りの世話をしたりし
ています。休日でも、働きに行くこと
があります。夜遅いことがあって、帰
ってくる、とても疲れた顔をしてい

と聞かれました。おにぎりももらって
食べていると、お父さんとお母さんが
何か話していました。

駐車場に車をとめると、去年は雨で
よく見えなかった景色が、晴れていた
のでとてもよく見えました。私達は、
いつも同じ場所に座ります。友達がわ
かるようにです。
おとうさんの仲間が来ると、みんな
は一周四百メートルぐらいのグラウン
ドをだまて走り始めました。中には、
しばふの上で体そうしている人もいま
した。

私は、お母さんに
「車の中で、お父さんと何を話してい
たの。」
と聞きました。
「今年も、去年の半分しか走らないん
だ。すぐに、駅伝があるから。」
と言いました。そうか、お父さんも大
変だなあと思いました。
パンというピストルの音と同時に、
火花がドン、ドン、となっていました。
「お父さん、どれくらいで帰ってくる
の。」

と、私が聞くと、
「今が十時だから。お父さん一時間
半後に帰ってくるっていつてたよ。」
とお母さんが言いました。私のお父さ
んは何時にゴールに帰ってくるか、い
つも目あてをたてているのです。
一位の人がゴールして、テレビ局の
人が寄ってきていました。二位、三位
が来ると、ぞろぞろと人が集まるよう
になりました。私と妹で、入り口の方

ぎりのお手伝いをしていきたいです。
以前は、どうだっていいという気持ち
だった。だけど次からは心をかえて、



私の家族

島田小6年 大倉 江梨奈

私の家族は、一言で言えば、明るく
元気のいい家族です。
朝、私がねむそうに
「おはよう。」
とあいさつをすると、お父さんやお母
さん、お兄ちゃんが私とは逆に、元気
よく、
「おはよう。」
と、あいさつを返してくれます。

私が学校に行く時、
「行ってきます。」
と言うと、お父さんとお母さんがおは
ようの時のような元気で、
「行ってらっしゃい。」
と、言ってくれます。私はその家族の
元気なあいさつのおかげで、
「今日も楽しくがんばろう。」
と、いう気持ちで学校に行くことがで
きます。

学校から帰ると学校であったことや、
友達のことなどを話したくなります。
そんな、話したくなる気持ちから、自
然と、
「ただいま。」
と言う声が大きくなってしまいます。

をじつと見ていると、
「あれ、お父さんじゃない？」
とお母さんが言いました。急いで、入
り口を見ると、お父さんが真剣な顔で
走ってくるのが見えました。
「あっ、お父さんだ。がんばれ!!」
私は、夢中で応えんしました。
お父さんの結果は八位でした。お父
さんが帰ってくると、お母さんは、
「すごいね。目標まであと十分だよ。
がんばったね。」
と言いました。少し待っていると、十
位までの人が表しよう台に呼ばれまし
た。表しよう台にのっているお父さん
は、とてもかっこよかったです。お父
さんが帰ってくると、私達はすぐに賞
品を見せてもらいました。ふくろの中
に大きな賞状が入っていて、やっぱり
お父さんはすごい!!と思いました。
これからは、マラソンがんばってくだ
さい。



家の手伝いをしていき、家族の役にた
てることをしていきたいです。

たまに、仕事や学校の帰りがおそくて
家族のだれもない時があるけれど、
たいい、
「おかえり。」
と家族のだれかが元気に言ってくれま
す。

私は話したかったことを家族のみな
なに話そうとすると、お兄ちゃんが私
よりも先に話をします。お兄ちゃんも、
話したい内容は私と同じだと思います。
お兄ちゃんが言う話はとても、おもし
ろおかしくて、家族のみんなで大笑い
をしながら夕食を食べています。私は、
さいしょ先に話されておこっしてしま
います。でも、お兄ちゃんの話が忘れら
れなくて自分が話そうとしていた学校
であったことや友達のことを忘れてし
まいます。

明るく元気のいいあいさつをみんな
で、楽しい会話をしながら夕食を味
わう私の家族。大好きです。



僕と父の関わり

北辰中1年 原田 大樹

僕の父は、農作業時期以外のひまな休みの日は、朝早くからパチンコ屋へときどき行ってしまふ。でも休みの前日に、グローブとバットを持って帰ると、あいている時間に少しかだけキャッチボールとバントの練習を手伝ってくれる。

キャッチボールは、夕方になると外へ呼ばれる。外へ出ると父は、「キャッチボールするぞ。」と言いい、車があまり通らない家の前の道路でキャッチボールをする。少し投げ合っていると、父が、「カーブ投げるぞ。」

と、ボールを投げてきた。父がカーブを投げられるとはあまり信じていなかったが、曲がったのでビックリした。僕がボールを投げると、投げた場所が悪く、父の後ろに飛んでいった。父は、「どこに投げてるんだ！」と僕に言った。僕が、「しかたないでしょ、手がすべったんだから、早くボール取ってきてよ。」

と言ったら、父は歩いてボールを取りに行った。それからしばらく投げてから、僕が、バントの練習しよう、と誘い、バント練習をすることになった。初めは僕が打ち、父が投げていたが、「へただなあ、ちよつと代わつてみ

ろ。」

と父に言われ、仕方なく代わつた。僕が投げると、父はちよつとどうまい所にボールを転がした。

「なんでそんなにうまく転がせるの。」と聞いてみると、「当てる時に、少しバットを引くといい。」

と教えてくれた。代わつてもらい、何回も打つてみたが、僕はうまくできなかった。



僕が野球を始めたのは、父のおかけだ。冬以外は、プロ野球が放送されているので、父といっしょに見たり、一

人で見たりする。しかも父は若いころに、野球をやっていたと言っていた。だから、僕が野球部に入ったのも、父が野球をしていたからだと思う。

僕は小学校の時は、全然野球はしていなかったが、中学校に入ってからはいよいよ野球をするようになった。

特にこの十月には、父の思いつきで、県外までドライブに行ったことが、印象に残っている。

僕は行き先を知らず、車内から外を見ていると海が見えた。その日曜日は快晴で、海に波はなく、すごく青くきれいだ。海の景色は、ずっと続いていた。

僕は車の中で本を読んでいたが、しばらくすると、いつの間にか眠ってしまった。目がさめると、もう二時三十分を過ぎ、帰り道に入ろうとしていた。帰る途中、道がせまくなって、約五十台が動けない状態となっていた。しかもバイクが通れないほど渋滞していて、少し進むだけでも数分はかかった。そこで父は、「車が動きだしたら、教えてくれ。」と言いい、少しの間休息していた。「運転手つて、すごく疲れるのかなあ。」と僕は思いながら前のバスを見ていると、動きだしたので、動きだしたよ、



母へ

北辰中2年 小田 啓

いつも僕達と泣いたり笑ったりする明るく朗らかで元気な母が、今年の二月に入院し、手術するという、我が家にとって一大事が起こりました。いつもは口うるさくて、いない方がいいと思つたこともあるのですが、母のいない家は灯が消えたように暗く、とても寂しく感じました。そして、「もし、このまま母が帰つてこれなかつたら、この家はどうなるのだろうか。」

と、とても不安でたまりませんでした。なぜかという、母が入院する五日前に母の母親が亡くなるという悲しいことがあつたからです。母は自分の入院のことや、祖母が亡くなったこととかで、とてもつらく大変だつたらうなあとと思うと、すごくかわいそうになりました。その時、どれだけ僕は母を必要としていたか、そして、どれだけわがままだったのかと反省させられました。

母の手術も無事に終わり、数日後見舞いに行くと、笑顔で僕に、「啓、お母さん元気になったよ。ありがとうね。」と、言われ、あーまた、今までの母に戻つてくれてよかつたと思つたので思いました。

僕も小学校四年生の時、手術しなければならなくなり、新潟市のある病院に入院したことがあります。家族と離れ、病院のベッドでたった一人、数カ月間寂しい思いをしたことがあります。でも、仕事が休みになると、両親と姉は必ず見舞いにきてくれました。僕は休みがくるのをいつも指折りかぞえて楽しみに待っていました。病院でいろいろな話をして、帰っていくときの寂しそうな母の姿を見るのは、とてもつらかつたです。

その姿を見ながら、頑張つて一日でも早く退院できるように、そして両親の心配を一つでも減らすことができるようにと心の中で思いました。今は、すっかり元気になって、毎日楽しく学校に通えるようになりました。本当にうれしそうな母の顔を見ていると、ずいぶん心配かけたなあと思つています。

僕達のことを心配してくれて、とてもよく気がつく母ですが、ついつい口数が多くなつて、あれこれと言うので僕も姉も、母に反発してしまうことがよくあります。でも、がまんしないで、お互いの気持ちをぶつけあうことはいいことだと思つています。今では、母は僕達のように相談相手です。困つた時や苦しい時には、的確なアドバイスをくれる

ます。その時は、勇気づけられたり、また頑張ろうという気になります。もちろん、けんかもします。母は、よく僕をからかいます。「あんたバカだから、卒業できないよ。」

「大丈夫だもんねえ。だつてお母さんだつて卒業できたもん。僕はぜんぜん大丈夫だもんねえ。」

負けずに僕も言い返します。けれど、母のいうとおり、中学生の折り返し地点。僕もしつかりしなければと、最近少しずつ思うようになってきました。

中学生になってからは、両親のありがたさが身にしみることがあります。バスケットの練習試合や試合、それに試験のときの、「がんばつてね。」の一声。勉強中の「やつているか。」学校へ行くときの「いつてらつしやい。気をつけるんだよ。」帰ってきたときの「おかえりなさい。」どれもが僕にとってありがたい言葉です。僕が今両親にできることは、勉強も部活もそして家の手伝いも、とにかく全部精一杯やることだと思つています。

僕の両親は共働きです。母はとんりの町、出雲崎町役場に勤務しています。僕が生まれる前から仕事をしているので、幼い頃から、家に帰るとお母さんがいるという友達をうらやましく思つたことがあります。でも今では僕達のために一生懸命働いてくれる両親をほこりに思つています。

母は時々仕事の話をしてくれます。あまり、母のグチを聞いたことはありません。



ません。でも、口にはださなくても、いろいろ大変なこともあるんだろうなあと思つています。母は思つています。母はともがんばり屋です。あまり無理をしすぎて、また、体調をくずしてしまうことがちよつと心配です。

僕は今、温かい家族やすばらしい友達、そして先生、いろいろな人に囲まれて幸せに暮らしています。

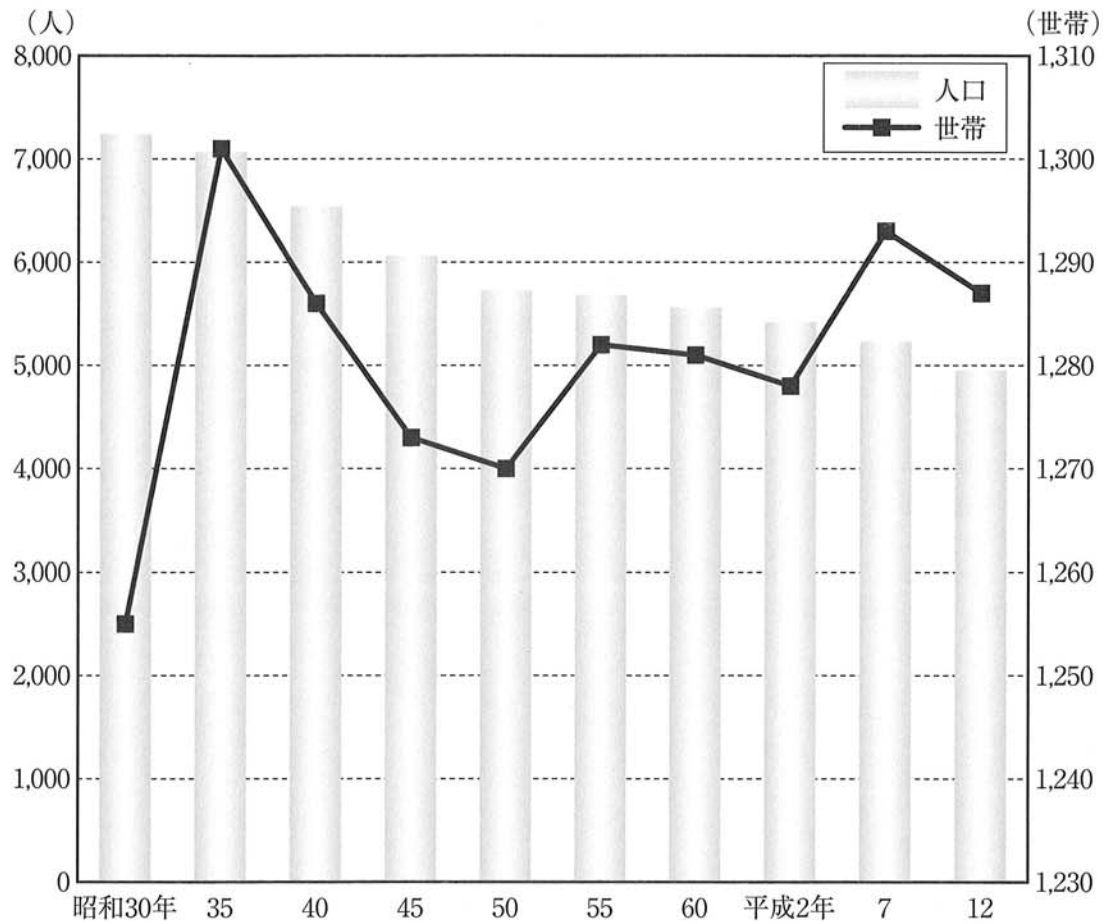
「啓。起きなさい。」

毎朝聞こえる大きな母の声。今日もまた、一日元気ががんばろうと思つています。これから、いろいろお世話になります。い「お母さん」でいて下さい。

そして、これからも、僕達を見守つていて下さい。

2000年国勢調査結果速報

— 和島村の人口は4,953人 —



昨年10月1日現在で全国一斉に行われました2000年国勢調査の速報がまとまりましたので、お知らせいたしますとともに、調査にご協力いただきました村民各位並びに調査員・指導員の皆様にはこの場をおかりいたしましたし心よりお礼申し上げます。

三島・古志郡の人口及び世帯数の前回調査比較

市町村名	平成7年度国勢調査		平成12年度国勢調査	
	人口	世帯	人口	世帯
越路町	14,294	3,586	14,271	3,744
三島町	7,269	1,751	7,618	1,944
与板町	7,484	1,946	7,493	2,079
和島村	5,232	1,293	4,953	1,287
出雲崎町	6,213	1,844	5,815	1,814
寺泊町	12,761	3,198	12,271	3,226
三島郡計	53,253	13,618	52,421	14,094
山古志村	2,523	749	2,222	699
長岡市	190,470	61,725	193,414	66,662
新潟県	2,488,364	757,341	2,475,724	795,597

和島村の人口推移

	世帯	人口	男	女
昭和30年	1,255	7,241	3,504	3,737
35	1,301	7,066	3,406	3,660
40	1,286	6,539	3,161	3,378
45	1,273	6,063	2,964	3,099
50	1,270	5,726	2,798	2,928
55	1,282	5,683	2,798	2,885
60	1,281	5,562	2,711	2,851
平成2年	1,278	5,422	2,638	2,784
7	1,293	5,232	2,535	2,697
12	1,287	4,953	2,382	2,571



「家族のありがたみ」

北辰中3年 矢島 智香

私が中学校を卒業するまで、あとわずかになりました。小学校から中学校まで、九年間の長い義務教育が終わろうとしています。ここまで、常に私の周りにはいろいろな人たちがいました。友達、先生、近所の方々が支えてくれたからこそ、ここまで生きてこれたのだと思います。そこで、毎日過ごしてきた家族について、感謝の気持ちを込めてこの作文を書きたいと思っています。

三年前の今頃、私は中学校入学へ大きな不安や緊張を抱いていました。しかし、それは私だけではありません。家族も同じ不安や緊張を抱いていました。

「勉強についていけるのか？」と気づかう父、「予習・復習だけはちゃんとやっておくんだよ、勉強についていけなくなるよ。」と勉強の方法を教えてくださいました。祖母は、「自転車通学だから事故には十分に気をつけて。それから、かぜをひかないように。」と私の身体を心配してくれました。「自分で一人で悩んでいるんじゃないんだ。」と思った瞬間、家族のそんな言葉が不安や緊張をほぐしてくれました。

中学校へ入ってからは、多くの友達とけんかもしたけど、仲良くやってこれました。部活を通して、先輩からも

たくさんのお話を学びました。それに、素敵な先生方ともたくさん出会いました。家族の励ましのおかげで中学校生活を楽しみ過ごすことができたのだと思います。

ここで、私の家族を簡単に紹介します。

父は、何にでもとても一生懸命な人で、自分の仕事に誇りをもっています。家に帰ってくる時間が遅い日もしばしばありますが、そんな父も休日になると家の回りの木を切ったり、ごみを燃やしたりします。いつもはスーツで会社に行くのに、休日は、土木作業のおじさん「みたい」です。

母は、私が尊敬する人でもあります。母はともにおおらかで、何かよくないことがあってもプラスに考えます。私はよくないことがあるとすぐ落ちこんでしまうので、すぐにプラスに考える母を尊敬しています。母には何でも話すことができても悩みも聞いてもらいます。だから、母と私の関係は親子ではなく、まるで姉妹みたいです。

そして祖母です。祖母はともきれいい好きで、私が朝起きると、居間や台所はともきれに掃除してあります。また、学校から帰って「ただいま」と言うと、必ず「お帰り」とかえしてく

れる、当たり前ですけど、すごくあたたくてやさしい、よき理解者です。ふり返ってみると、家族のありがたみを教えられたことは、まだまだあります。

私が二年生のときのことです。私はバレー部に所属していました。休日に練習試合をすることになり、お弁当が必要になりました。お弁当を母に頼もうと思っただけで、知らず知らずのうちに練習試合前日の夜になってしまいました。突然だったため、母は、「お弁当入れるのはいわよ。自分で作ってもいいじゃない!!」と怒りました。無理もありません。誰だって前日になってからお弁当があるって言われても困るに決まっています。母の気持ちもわかります。

「明日、どこかで買ってこよう」と思い、仕方なくその日は寝ました。

次の朝、母にあわせる顔もなく、お弁当はないものと思いつつ、台所に向かいました。しかし、お弁当は作ってありました。「自分で作りなさい」と言っていたのに、母は私のことを思って、残り物を集めて作ってくれたのです。「お弁当作っておいたから。今度からはもっと早く知らせてね。」とやさしく母に言われ、「練習試合がんばれよ」と父にも祖母にも言われました。その時、言葉で言い表せないくらい、とってもうれしかったです。お弁当は、母の気持ちと練習試合を応援する父と祖母の気持ちでいっぱい、とてもおいしかったです。

今考えると私がいけなかったのに、母や父、祖母はちゃんと私を見ていてくれたのです。私はこんな家族の一員で本当によかったです。

もう少しで義務教育が終わります。少しは私も大人になりたいです。そして家族のだれかが困っていたら、私が助けあげられるようになりたいです。家族のみんなへ。

これからも迷惑かけることがあると思いますが、その時はまたよろしくお願いします。そして、今までありがとうございました。



気分は一足お先にお正月

毎年子供たちが楽しみにしているもちつき大会が12月2日(土)、桐島小学校体育館で行われました。

この日は、4つの白と杵が用意され、先生や応援にかけつけた父母らの助けを借りて、慣れない手つき、腰つきで子供たちも順番にもちつきを体験しました。つきたてのおもちは、きな粉と雑煮で味わいました。

21世紀を迎え、新しい時代を担っていく子供たちにはこの杵つきもちのように粘りのある大人へ成長してほしいですね。



練習の成果、舞台上披露

保育所での日頃の活動の成果を発表する生活発表会が12月9日(土)、開催されました。

この日は、我が子の晴れ姿を一目見ようと、カメラやビデオを片手に大勢の父母や祖父母のみなさんが会場を訪れ、上手に発表する子供たちに盛んな拍手を贈っていました。

また、子供たちはこの日のために一生懸命練習してきたおどりや歌、劇などを心配そうに見守る家族の気持ちをよそに元気に披露しました。



長続きの秘訣は、形にとらわれずそれぞれの年代やその日の体調など、自分のペースで体を動かせること、そしてなによりも、参加者と指導者が昔からの「顔なじみ」という気持ちの面で気楽さ。

「(家では)こんなに笑うことはないですよ。それに、自分の体は自分で守



**地域で集い
笑いと体操で健康づくり**

12月13日夜、荒巻の公会堂は賑やかな笑い声につつまれていました。
荒巻地区の健康づくり推進員・阿部多鶴子さんを指導員に、心と体のリフレッシュを目的に実施している運動の会。年代は20代から70代まで幅広く、現在は10名ほどが月に1回、水曜日の夜に集まり体操や軽スポーツ、お茶飲み話を楽しんでいます。この日は、会がスタートしてちょうど2年目の日。地域にすっかり定着し雰囲気も明るい。

この会に参加している人は健康な人ばかり。年をとっても健康で充実した生活を送りたいというのはだれしもが望むこと。だからこそ、今、健康維持のためにこうした予防的な活動がとても大切なのだと思います。

昔にくらべ、地域の関わりが希薄になりつつある昨今。地域の人々が集い対話をしながら楽しく過ごせるお茶の間の場所として、この会が細く長くいつまでも続くようにエールを贈りたい。



日頃の感謝 豚汁でおもてなし

役場向かいで毎週水曜日に新鮮野菜を販売している「いきいき夕市」が11月29日(水)、平成12年の営業を終了しました。

この市場で販売している野菜は新鮮な上に安いということで毎週の営業日には大勢の人で賑わいます。

「儲けはほとんどないね。でもここに来るのが楽しみなんです。いろんな人との触れ合いは楽しいし、野菜づくりは自分の生きがいにもなるからね」と会員の方は話してくれました。

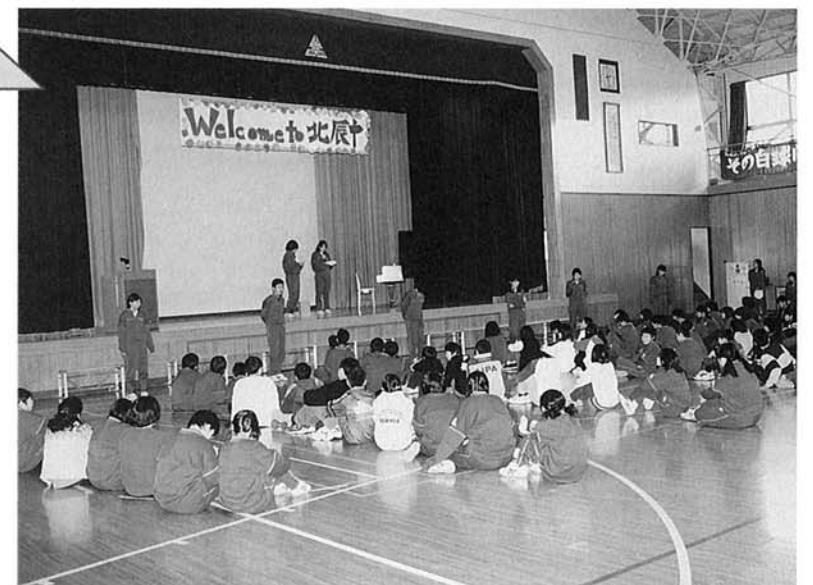
この日は、一年間の感謝の気持ちを込めて、お客さんに豚汁が振る舞われ、新鮮食材を求めて立ち寄ったお客さんたちは思いもよらない熱々のごちそうに、一時寒さを忘れて豚汁に舌鼓を打ちました。



新生活への不安もこれで解消

新生活への不安を少しでも解消してもらうと、4月に中学校へ入学する村内両小学校の6年生36名を迎えて小中交歓会が11月30日(木)、行われました。

開会式では先輩が「中学校のことを知ってもらおうと昼休みなどを利用して準備してきました。みなさん楽しんでください。」と挨拶。その後、先輩の手作りによる学校紹介やレクリエーション、校内オリエンテーリングが行われ、最初は緊張気味だった6年生たちも、先生や先輩のやさしい指導のかいもあり、充実した交歓会となったようです。



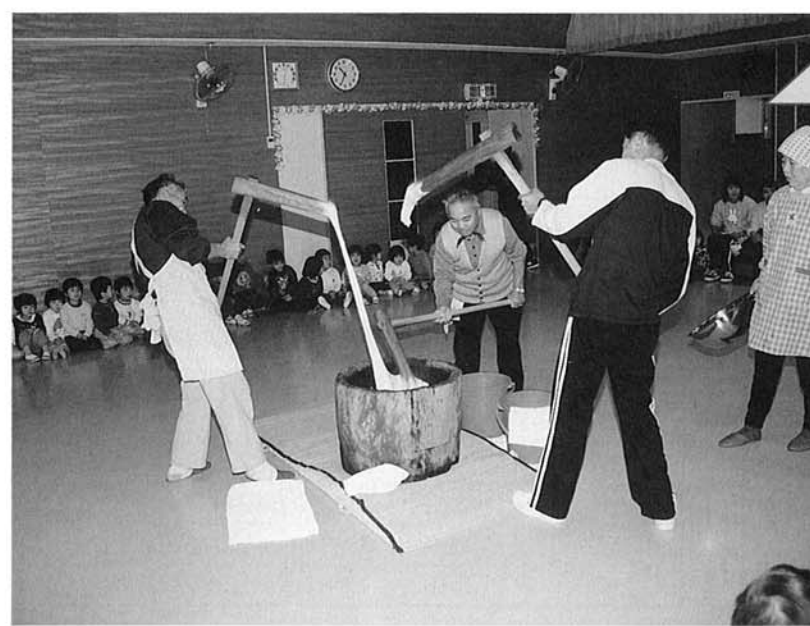
まっきました!もちつき大会

子供たちが待ちに待った餅つき大会が11月30日(木)、保育所で行われました。

これは、地域ふれあい活動の一環で、子供たちのおじいちゃん・おばあちゃんをお迎えして毎年実施しているものです。

もち米が蒸けいよいよ餅つき大会の始まり。子供たちのがんばれ、がんばれの声援を背に、つき役のおじいちゃんたちは用意された杵と臼で粘りと腰のあるお餅をつき上げていきました。

つきたての餅は、あんこときな粉で味わい、子供たちは一足早いお正月気分を満喫していました。





わし麻呂くんの部屋

生涯学習情報



「12月の感性が輝く」オリジナルリース製作 〜レディースセミナー〜

公民館では、女性のための生きがいづくりを目的としたレディースセミナーを毎年実施しており、昨年11月のセミナーではクリスマスにちなんで、クリスマスリースの製作を行いました。



21世紀の幕開けは自作のハチ紙で 〜切り絵教室〜

21世紀のスタートは自作のハチ紙で迎えようと、11月20日切り絵教室が開かれました。



「自分が成長した!」 〜少年教室〜

少年教室では11月26日(日)、県立柏崎アクアパークを会場にスケートの学習を行いました。スケート場に到着すると早速滑走準備を始めた子供たち。まずはスケート靴をはくのに四苦八苦。どうにか靴ひもを結び、滑走を開始すると今度はつるつる滑る氷に悪戦苦闘。指導員からスケートのいろはを学ぶと、お互いに負けじと競い合っって練習する子供たち。



その上達のスピードはさすがに早く、後半にはそれなりのスケートイングで、各々に氷の感触を楽しんでいました。12月9日(土)には、少年教室最後の学習が行われ、「仲良しの友達の知らないところが見えて良かった」「仲間と協力して何でもできた」「自分が成長した」など、たくさんの方の見出し出を作文につづり、今年度の学習を終りました。



告知
和島切り絵村がNHKで出演
分水切り絵村と共に広域的な活動を展開する「和島切り絵村」がNHKの収録に広域メンバーとして参加しました。その模様が次の予定で放送されます。

■期日 平成13年1月12日(金)
■時間 午後6時10分
■局名 NHK総合
■番組名 ニュースフレッシュ便

サンタからクリスマスプレゼント 〜ひよこクラブ〜

12月19日(火)、ひよこクラブ主催によるクリスマス会が役場保健センターで実施されました。3才までの幼児とその保護者を対象としたひよこクラブは、毎月2回のペースで様々な学習会や事業など、自主的な活動を展開しながら育児などに関する情報交換を行っています。



この日は、子供たちにサンタさんからプレゼントが届くというところで大勢の親子が参加。サンタさんから一人ひとりにプレゼントをもらったり記念写真を撮るとるなど、楽しい時間を過ごしました。



ひよこクラブのみなさん、サンタはいつもみなさんの活動を見守っていてくれると思います。来年も来てもらえるように、育児や仲間づくりがんばってくださいね。

おどろろ、おどろろ 〜海洋教室〜

海洋教室では12月10日(日)、柏崎アクアパークを会場にスケート教室を実施しました。



今回は、スケート初体験という低学年から経験者の高学年まで30名ほどの小学生が参加。アクアパークの指導員からマナーや注意事項などを含めた一通りの基礎を指導してもらおうと、いよいよ自由滑走の時間。待ってました。とばかりにリンクへ飛び出し、友達同士で楽しそうに滑っていました。

第5回村民ボリング大会 参加者募集!!

体育協会では、昨年に引き続き村民ボリング大会を次のとおり計画いたしました。家に閉じこもりがちな冬場ですが、この機会に是非ふるってご参加ください。

■期日 2月4日(日)

■参加資格 中学生以上の村民及び村内事業所に勤務する方

■会場 見附ミナミボール

■募集定員 80名(定員になり次第締め切ります)

■参加料 2000円(ゲーム代含む)

■申し込み 1月29日(月)までに教育委員会へお申し込みください。

初心者スキー教室 参加者募集!!

公民館では、冬場の運動不足解消と、体力・健康の増進を目的に初心者向けのスキー教室を計画いたしました。

■対象 象: 初めてスキーをする方、又は初心者程度の方

■期日 2月10日(土)・2月24日(土) 3月4日(日)の計3回

■会場 池の平温泉スキー場

■募集定員 20名(先着順)

■参加料 5000円

■お申し込みは、2月2日(金)までに公民館へ。(874-3111)

たより

新着図書紹介

新刊一部紹介の巻

【成人向け】

- 『新潟県 三島郡誌』 (千秋社)
- 『痛快! 税金学』 (野末 陳平)
- 『原子力発電で私たちが知っていた120の基礎知識』 (東京書籍)
- 『越後のひと』 (佐久間かつえ)
- 『新潟県を有名にした七人の食人』 (石坂智恵美)

【幼児向け】

- 『なぞなぞえほん①〜③のまき』 (中川季枝子)
- 『そらいろのたね』 (中川季枝子)
- 『ぶたたぬきつねねこ』 (馬場のぼる)

わし麻呂くん おすすめの一冊

少年ときつねが宝物を取り替えた。きつねからもらった宝物は小さな空色の種。その種をまくと、お家が咲いた。喜んで水をかけると家はどんどん大きくなり、町中の子どもや動物が入れるほどの大きさに...

幼児の空想遊びの世界をそのまま絵本にしたような魅力あふれる一冊です。

Information

お知らせ

●和島村役場
☎74-3111 FAX74-2791

1月の納税・納入

- 村 民 税 料
- 国 民 健 康 保 険 料
- 国 民 年 金 保 険 料
- 幼 稚 園 保 育 料
- 保 育 所 保 育 料
- 介 護 保 険 料

1月

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
⑦	⑧	9	10	11	12	13
⑭	15	16	17	18	19	20
⑳	22	23	24	25	26	27
㉓	29	30	31			

1月の救急診療のご案内

1 休日の救急診療

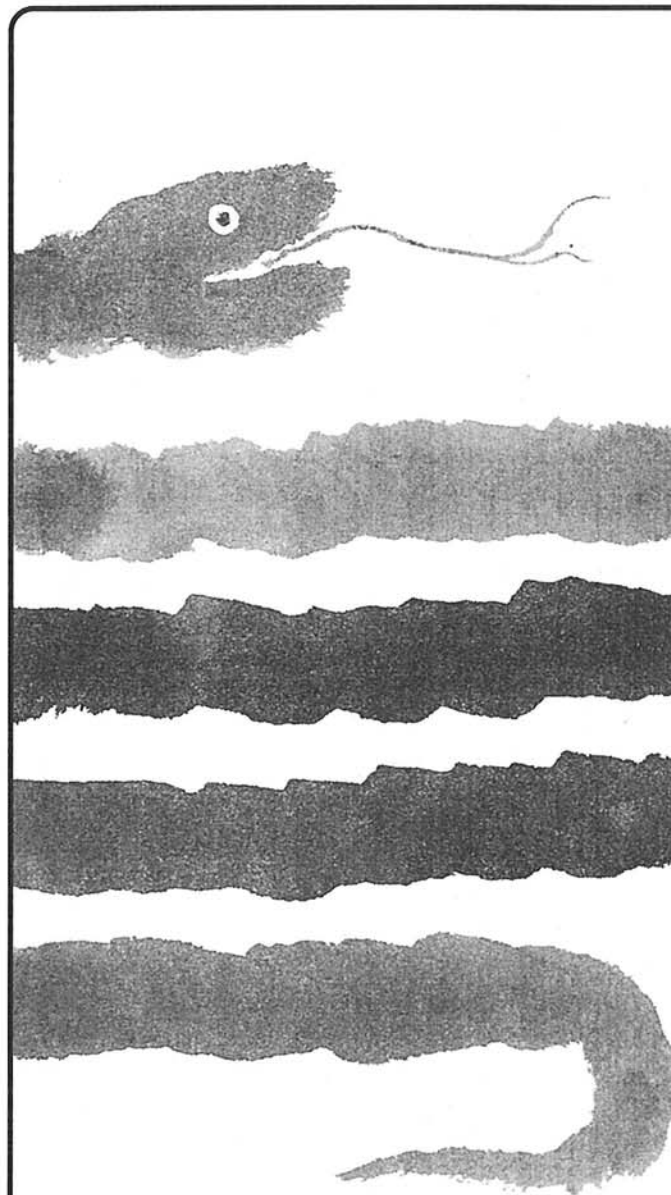
(1) 内科・小児科・外科・歯科の昼間（午前10時～午後3時）

長岡市健康センター内（長岡市西千手2-5-1）
・長岡休日急患診療所 ☎35-8255
・長岡市急患歯科診療所 ☎33-9644

(2) 産婦人科および夜間

区 分	在宅当番医院	午前9時～翌午前9時
診療科目	産婦人科	内科・小児科・外科・産婦人科
1 (祝)	トマト・レディス・クリニック	長岡赤十字病院
2 (火)	杉本医院	長岡中央総合病院
3 (水)	長岡西病院	立川総合病院
7 (日)	明石医院	長岡赤十字病院
8 (祝)	斎藤医院	立川総合病院
14 (日)	小林医院	長岡赤十字病院
21 (日)	丸岡医院	長岡中央総合病院
28 (日)	トマト・レディス・クリニック	立川総合病院

今年 は 巳年



約二千七種も生息

蛇は爬虫類へび亜目の動物で、トカゲと同じ祖先をもつといわれています。

体は細長く、四肢はありません。細い舌の先端は二またに分かれてよく動きます。こんな異様な外見から、蛇を嫌う人が多いようです。

蛇は温帯、熱帯、亜熱帯に多く生息し、アラスカ、シベリア

など寒い地方にもいます。全世界に約二千七種もいるといわれています。

蛇は悪者？ 神？

日本の神話に登場する蛇はヤマタノオロチ（八岐大蛇）といって、頭が八つ尾が八つ、体の長さは八つの谷を越えるほどだったといわれています。そのオロチが娘を食いこいて、スサノオノミコトという神に退治されたとい

う話です。

一方、蛇は神格化され、聖書や神話にもしばしば登場します。また、水の神として信仰されたり、家の守り神として家に住みつくのを喜んだりする例もあります。

このように、蛇は悪者として恐れられていますが、神としてあがめられることもあり、いろいろな話が世界各地に伝わっています。

また、毒蛇が恐れられ、嫌われるのはもちろんですが、それを薬用に使う例もあり、強壮剤としても珍重されています。

蛇の絵に足を書きたす

蛇は、古くから人間とかかわりが多い動物だけに、蛇に関する故事やことわざもいろいろあります。

「蛇足」。これはよく知られている言葉で日常会話にも使われていますが、こんな由来があります。

昔、楚の国の役人が、蛇の絵を一番早く書いた者が酒を飲むことができるという競走をしました。

した。一人がいち早く完成したのにもかかわらず、時間に余裕があったので足を書きたしてしまい、負けてしまったという話です。

そのことから、あっても意味のないもの、余計なことという意味に使われています。

「蛇の道はへび」も、よく聞くことわざです。「じゃ」とい「へび」といっても、呼び方が違うだけで同じもの。同じ仲間のやったことならすぐに分かるという意味です。

「数蛇」「数をつついて蛇を出す」。しなくてもよいことをして、かえってよくない結果になることです。

心豊かに暮らせる年に

「蛇穴を出づ」という言葉もあります。冬眠していた蛇が、春暖になって地上に出てくることをいいます。

二十一世紀の始まりの今年巳年。低迷していた景気から脱出して春を迎え、みんなが安心して心豊かに暮らせる年にしたいものです。

歯の健康 Q&Aコーナー

Q よくプロ野球選手がオフシーズンに歯の治療をしますが、そんなに大切なことなのですか？

A 野球でボールを投げたり、打ったりするときには、特に奥歯に大きな力がかかります。虫歯があってよく噛めない時や、歯周病でしっかり噛みしめられない時には、十分な力を出すことができません。そのために、よい選手は試合のない時期に歯を治そうと努力します。また、スポーツ選手は、特に力をこめて歯をくいしばるため、歯がかなりすり減ってしまいます。かみ合わせが悪くなると姿勢まで悪くなり、実力が発揮できません。さらに歯が抜けてしまうとドライバーの飛距離が、10ヤードくらい落ちてしまうといわれています。

「歯を食いしばってがんばれ！」と言いますが、しっかり噛めなければがんばることもできません。歯の大切さはこんなところにもあらわれています。

新潟県歯科医師会

言葉の履歴書

「かがみ」は光の反射を利用して、姿や形を見る道具。語源としては、「赫見」の意、あるを見る「赫」とする説があります。青銅など金属製のががみ（鏡・鑑）は、中国から渡来したもの。「鏡」は鏡（もの）の姿形を映す金属器を指し、古くは金属の監（水の入った盤）をのぞく「鑑」が使われました。ガラスを用いた鏡がヨーロッパで普及したのは、17世紀以後のことです。日本では古代から「鏡は神の正体」として神社の御神体とされ、

「かがみ」は光の反射を利用して、姿や形を見る道具。語源としては、「赫見」の意、あるを見る「赫」とする説があります。青銅など金属製のががみ（鏡・鑑）は、中国から渡来したもの。「鏡」は鏡（もの）の姿形を映す金属器を指し、古くは金属の監（水の入った盤）をのぞく「鑑」が使われました。ガラスを用いた鏡がヨーロッパで普及したのは、17世紀以後のことです。日本では古代から「鏡は神の正体」として神社の御神体とされ、

「知恵の鏡」は知恵のすぐれたことを鏡に例えた表現。また、「昔は今の鏡」といえば、歴史上の出来事が、現代でもお手本となる意味に用いられます。鏡のように円い大小の餅を重ねた「鏡餅」は、新年用の「お供え」。江戸時代から正月20日（のち11日）には、鏡餅を割って雑煮や汁粉にして食べました。「割る」の忌み言葉「開く」を使う「鏡開き」の風習は、今も行われています。

平成13年度 生産調整目標面積配分される

—250.86ヘクタール—

平成12年12月1日、県から各市町村へ平成13年度の実績目標面積が示され、和島村へ250.86ヘクタール（従来分236.38ヘクタール、緊急拡大分14.48ヘクタール）が配分されました。

目標面積につきましては、過去最大の配分となりましたが、国としての新たな助成体系、また県としても緊急拡大分に対する支援策を講じます。

稲作経営安定対策の緊急拡大メリットを受けるには、従来分と緊急拡大分の双方を100%達成（地区達成）することが条件となっています。

地区（集落）合意の取組みにより、目標達成にご協力をお願いします。

■110番の通報要領
 県内の110番通報は、一部の地域（佐渡・粟島）を除いて、全て新潟県警察本部の通信司令室につながります。電話を受けた警察官が次の順番で尋ねますので、落ち着いてお話しください。
 ・何がありましたか↓交通事故、泥棒、ケンカ等
 ・いつですか↓何時何分ころ・今から何分前
 ・どこですか↓場所・目標物・建物等
 ・犯人は↓人相・服装・車のナンバー・逃げた方向等
 ・あなたは↓住所・氏名・電話番号等
 ■こんなときには、
 ・ためらわずに110番通報を
 ・事件や事故を見た時

税に関する標語2作品が入選

毎年、税務署では租税教育の一環として、また、税に関する理解を深めてもらおうと高校生・中学生を対象に、税に関する作文と標語を募集し、優秀作品を表彰しています。

平成12年度は標語の部で、北辰中学校から2名の生徒の作品が入選しましたのでご紹介します。

- ☆長岡税務署長賞 佳作
 『よく知ろう みんなの税の 大切さ』
 北辰中1年 勝見 麻衣さん
- ☆長岡税務署管内税務団体連絡協議会長賞 佳作
 『税金で 笑顔いっぱい 楽しい未来』
 北辰中2年 小林 卓さん



除雪作業にご協力ください

冬季間は道路交通確保のために除雪作業を行います。安全で効果的に除雪ができるように、また、その効果が十分生かされるよう、皆さんのご協力とご理解をお願いします。

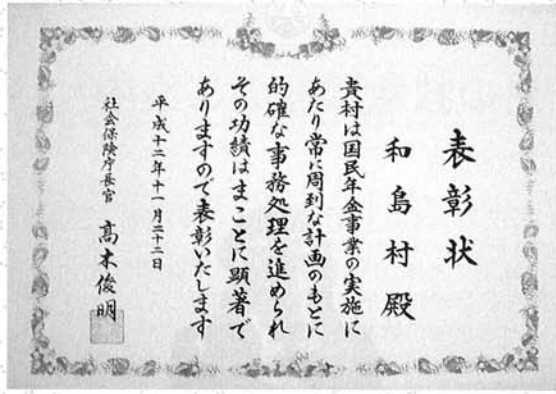
沿道の皆さんにお願いすること

- ①路上駐車はしないでください
 路上駐車があると、除雪車が進めなかつたり、駐車車両のまわりが雪が残つたりして、除雪作業の妨げになります。また、夜間や吹雪の中での作業で事故につながる恐れもあります。
- ②除雪車には近寄らないように
 除雪車は、前進・後退の繰り返し作業を行うことがあり、たいへん危険です。近寄らないでください。特に、子供たちが絶対に除雪車の近くで遊ばないよう、注意してください。
- ③玄関先の雪処理にご協力を
 玄関や車庫前に残った雪は皆さんで処理をお願いします。
- ④樹木などの垂れ下がりが
 除雪により、樹木・竹などが道路上に垂れ下がる場合があります。交通の支障になるものについては、その処理にご協力ください。

国民年金事業の功績認められ表彰

11月22日(水)、新潟市の新潟厚生年金会館において、「平成12年度国民年金事業功労者社会保険庁長官表彰伝達式」が行われました。

これは、社会保険庁が国民年金制度推進月間行事の一つとして、国民年金事業の推進・発展向上に努力、貢献された団体及び個人を表彰するというもので、このたび和島村がその功績を認められ表彰を受けました。



- ⑤消火栓に注意
 消火栓のまわりには、雪を置かないでください。
- ⑥道路に雪を捨てないように
 家庭用のスノーダンプで玄関先や庭先の雪を道路に放置する方を見受けられます。歩行者や車の通行の妨げになりますので、除雪の前後にかかわらず道路に出さないでください。
- ⑦早朝・夜間の作業について
 除雪作業は早朝や夜間の作業が多いため、騒音等でご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、ご理解をお願いします。
- ⑧消雪パイプの運転休止時間について
 消雪パイプは、日中2時間の運転休止時間が設けられています。休止時間中は多少シャーベット状の雪が残ることがありますが、ご理解くださいますようお願いいたします。
- ★積雪期間中は道路が狭くなり、歩行者にとつても、車にとつても、通行条件が悪くなっています。お互いに相手を思いやり、道路を通行する際は十分に注意しましょう。
- ◎お問い合わせ先
 ・村道に関すること
 和島村役場地域開発課
 (☎74-3111)
 ・県道に関すること
 与板土木事務所維持管理課
 (☎72-3185)

・泥棒などの被害に遭った時
 ・倒れている人を見た時
 ・訪問販売等が来て困っている時
 ・その他、急いで警察に知らせたいことがある時は、あわてず、落ち着いて、見たままを正確にお話しください。早くて正確な通報は、犯罪の未然防止や事故防止、早期解決につながります。

・携帯電話でかける際の注意事項
 ・自動車などを運転しながらの電話は禁止されています。
 ・県境付近から110番すると、他県の通信司令室に入ることがあります。

・場合によって電波が届かず、通話が困難な時もあります。こんなときは、場所を変えるか、近くの公衆電話を利用してください。

成人の日 (1月8日)

歳時記

「御降り」というのは、元日または、三が日に降る雨や雪のことです。

普通、「御下がり」といって、神仏の供え物をおろして人が食べることもか、年長の人から譲られた衣服などのことを指します。

しかし、季語の場合は昔、一月一日や三が日に雨や雪が降ると豊作の吉兆として喜ばれたことから、「御降り」または「お降り」と表現するようです。

御降りに 眉目濡らし
 て三輪詣で 北野民夫

毎年のしきたりになっていく三輪神社への初詣。この年は御降りがあり、眉目を濡らしつつ詣でることに。縁起がよいといわれる御降りなので、雨をいやがるのではなく、むしろいそいそと出かける感じが出ています。

三輪神社は大神神社の別称。奈良県桜井市の三輪山を神体としている神社で、二十二社

（朝廷が畿内を中心立てた神社）の内の一つです。
 御降りの 呟き止みで
 昏れにけり 阿部みどり
 御降りの、しとしとした風情が感じられます。この時期の雨は豪雨になることは少なく、いつのまにか御降りが止んで、一月一日の夜が静かに昏れていく。心静かに正月を迎えた気分が伝わってきます。

豪雨の心配はあまりしなくてもいいようですが、地震などの災害はこの時期でも起こります。一月十七日は「防災とボランティアの日」です。自主防災組織に参加する心構えを身につけたいものです。

20歳になったら国民年金に加入しましょう。

国民年金の加入と納付は20歳からスタートします。会社等に勤めて厚生年金(共済組合)に加入している人は、国民年金の第2号被保険者として、自営業者・学生は国民年金の第1号被保険者として加入することになります。

加入手続きは、第2号被保険者は会社等でを行います。第1号被保険者は自身

自身で市町村の国民年金担当窓口で行うこととなります。

国民年金保険料は、第2号被保険者は給料から天引きされる厚生年金保険料(共済組合掛金)に含まれますが、第1号被保険者は自分で直接金融機関等で納めてもらうこととなります。

納め忘れがあると将来の老齢基礎年金が満額受けられなかったり、もしものときの障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられない場合があります。

国民年金に加入して保険料を忘れずに納めましょう。

国民年金に関するお問い合わせは、役場住民課国民年金係まで
 ☎74-3111 内線255